

# 大分都市圏の総合的な交通施策の推進

## 大分都市圏に関連する道路施策

- 平成26年度までに県内の東九州自動車道の全線供用を要望中
- 平成24年3月に大分駅付近連続立体交差事業が高架開業、平成24年度内に踏切撤去が完了
- 平成25年度に下郡中判田線、平成28年度に庄の原佐野線を供用目標として整備中



## 大分都市圏の問題と課題

社会面	急速に進行する高齢化
	中心市街地の衰退
自動車	渡河・橋梁部での混雑
	国道10号、442号などの幹線道路、IC周辺部での混雑
公共交通	公共交通の衰退
	各拠点駅の交通結節機能が脆弱
	公共交通利用困難地域の点在
徒歩・自転車	歩行者・自転車事故の増加
	自転車走行環境が不十分

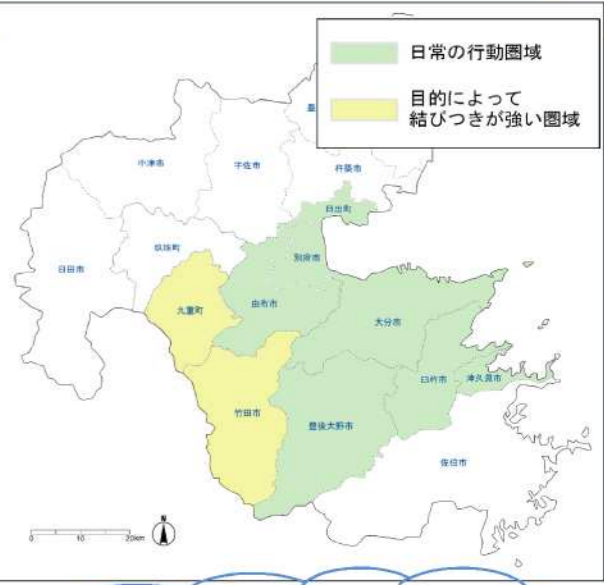
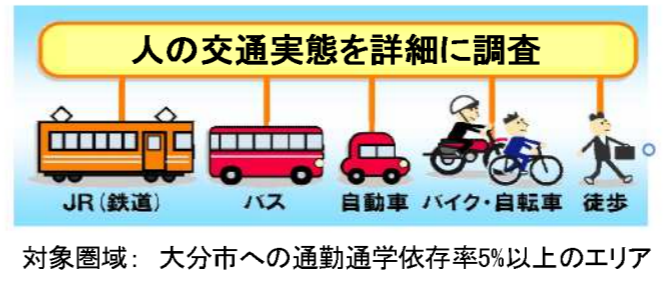
- 課題1: 活力ある県都圏域づくり**
  - ・広域交通体系を活かした交流、連携の強化
  - ・慢性的混雑の緩和、高速道路の有効活用
- 課題2: 都市間・地域間の移動の円滑性確保**
  - ・大分市と周辺都市とのアクセス性向上
  - ・拠点間や郊外とまちなかの連携機能の強化
- 課題3: 身近な地域で、安全・安心に移動できる環境整備**
  - ・中心市街地やまちなかの賑わいにつながる、拠点内の自転車・歩行環境の整備
- 課題4: 公共交通の利用促進、移動性の確保**
  - ・車から公共交通、自転車、徒歩への転換促進
  - ・住民、行政、交通事業者が協働して支える交通体系の構築

## 課題解決に向けた方向性(案)

- 【交流を促進する交通インフラの有効活用】**
  - 骨格幹線道路網の構築による高速道路の利用促進と防災・緊急輸送機能の向上 (高速ICアクセスの整備推進など)
  - 高速バスの利用促進 (福岡方面、大分空港方面の高速バス停留所における端末交通サービスの提供など)
- 【拠点連携を強化する都市交通の改善】**
  - 主要渋滞ポイントの渋滞緩和 (国道10号、442号、都市計画道路の整備推進など)
  - パーク＆ライドの促進 (商業施設と連携したICカードの有効活用、まちなかへのバス拠点の整備など)
- 【安全・安心社会を支える地域拠点の形成】**
  - 過度に車に依存せず、公共交通、自転車、歩行者が利用しやすい交通環境づくり (公共交通サービスの充実やユニバーサルデザインによる鉄道駅の整備促進など)
  - 交通事故の少ないまちづくり (交通事故多発地点での交差点改良など)
- 【みんなが協働する交通市民社会づくり】**
  - 公共交通利用促進の啓発 (地域、職場、学校等における啓蒙活動の促進やノーマイカーデー等の実施など)
  - 利用者のニーズに応じたバスの増便やルートの変更

## 【交通実態調査の実施】

- 多様な交通手段で構成される都市交通の計画策定は、**人の動きに着目することが重要**である
- そのため、**人の交通行動やニーズを把握した交通実態調査が必要**となる



何時から何時まで? (時間)  
 何処から何処へ? (場所)  
 何をしに? (目的)  
 何をを使って? (交通手段)

国・県・市・交通事業者等が一体となって、**大分都市圏の総合的な交通計画**を策定する

交通計画の推進により、**快適で人にやさしい都市づくり**を推進する



# 大分都市圏の総合的な交通施策の推進（方向性のイメージ）

## 【交流を促進する交通インフラの有効活用】

- 骨格幹線道路網の構築による高速道路の利用促進と防災・緊急輸送機能の向上  
(高速ICアクセスの整備推進など)
- 高速バスの利用促進  
(福岡方面、大分空港方面の高速バス停留所における端末交通サービスの提供など)

例えば・・・

- ・高速バス停までのアクセス改善  
(路線バスとの連絡性の向上、送迎スペース確保など)
- ・高速道路IC周辺での新たな高速バス停設置  
(駐車場確保、パーク&高速バスライドの促進など)

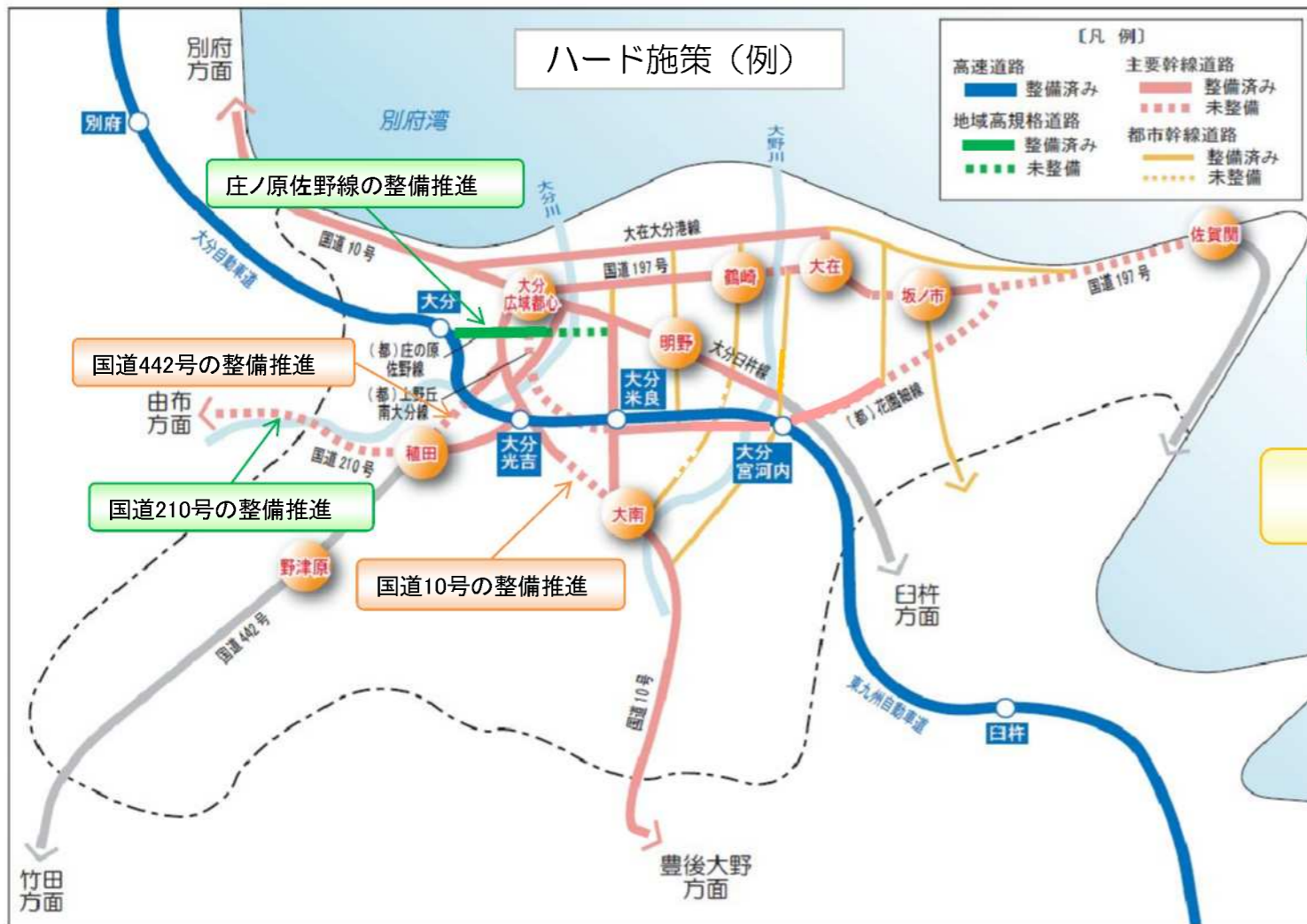
## 【安全・安心社会を支える地域拠点の形成】

- 過度に車に依存せず、公共交通、自転車、歩行者が利用しやすい交通環境づくり  
(公共交通サービスの充実やユニバーサルデザインによる鉄道駅の整備促進など)
- 交通事故の少ないまちづくり  
(交通事故多発地点での交差点改良など)

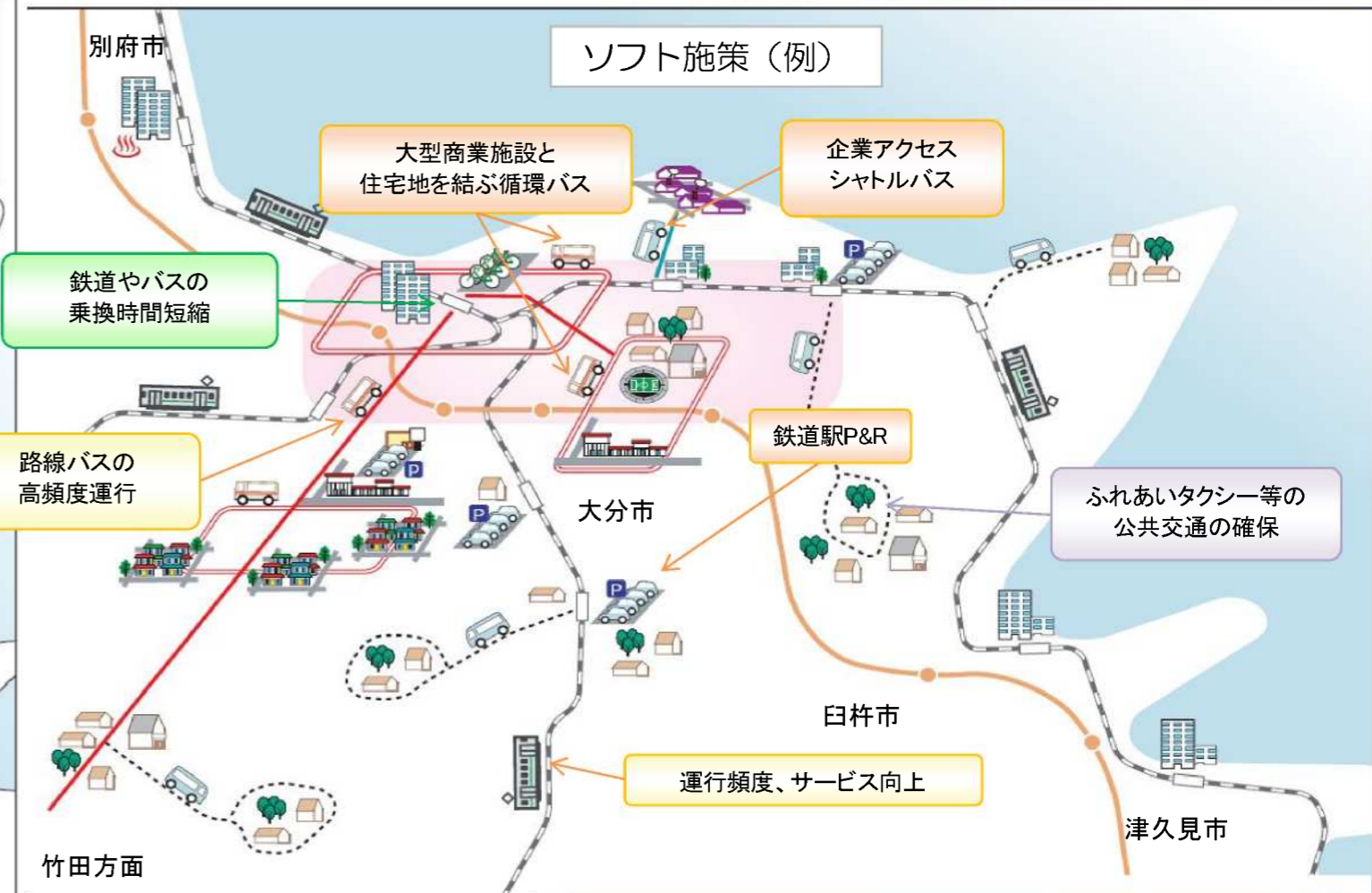


ユニバーサルデザインによる駅前広場の整備

## ハード施策（例）



## ソフト施策（例）



## 【拠点連携を強化する都市交通の改善】

- 主要渋滞ポイントの渋滞緩和  
(国道10号、442号、都市計画道路の整備推進など)
- パーク&ライドの促進  
(商業施設と連携したICカードの有効活用、まちなかへのバス拠点の整備など)



バス停のグレードアップ

## 【みんなが協働する交通市民社会づくり】

- 公共交通利用促進の啓発  
(地域、職場、学校等における啓蒙活動の促進やノーマイカーデー等の実施など)
- 利用者のニーズに応じたバスの増便やルートの変更





# 【調査全体スケジュール（案）】

